

CONTENTS P1 学長のメッセージ／新学部長からのメッセージ／令和7年度入学式 P2～5 大学卒業制作・卒業論文・大学院修了制作／新入生オリエンテーション P6 コンテスト／産学・域学連携／企業見学・研修旅行 P7 教員の教育活動／ご退職の先生／新任の先生／卒業生、輝いています！ P8 自治会／INFORMATION

学長のメッセージ

ファッション産業界が抱える課題に向き合い、解決策に取り組める人材を育成します

杉野服飾大学は今年創立100周年を迎えますが、ファッション造形やデザインだけでなく、ファッションビジネス、映像メディア表現、さらには歴史や文化まで幅広く学べる国内唯一のファッションに特化した男女共学の総合大学に発展してきました。少人数制で手厚く面倒見の良い教育指導も本学の魅力の1つとなっています。

また、最先端の画像生成AIやファッション3Dモデリングを学べる環境を整備するとともに、ファッションと関連の深いメイク技術を学ぶ観点から、今年度ビューティー・メイクアップ術を1・2年次の選択科目として新たに開設しています。

今年度は昨年度よりも多くの新入生を迎えることができました。この3月の就職率は99%を超え、多くの卒業生が夢や希望を叶える進路に進み、

社会人としての第一歩を踏み出しています。服飾学科は入学時にモード系とビジネス系のどちらかを選択し、初年次では共通で造形とビジネスの基礎科目を履修し、2年次から専門コースに分かれて履修します。服飾表現学科は、ファッションの価値を人々に伝える様々な表現世界で活躍する人材を養成します。服飾表現に関する4分野から主専攻と副専攻を選択し、専門的な資質や能力を修得します。今、ファッションの世界でもSDGsに沿った取組みが求められています。歴史や伝統を学び未来を創造する人材の育成を目指して、一昨年度服飾文化学科を開設しました。

生成AIの出現により、現在ある仕事の半分はなくなるといわれますが、どんなにAIが進歩しても、高品質の服作りには繊細で複雑な手仕事が必要であり、ファッションに関する様々な分野においても高度な知識・スキルを持った人材が必要です。むしろこれからはAIも活用できる人材のニーズが高まると考えます。

杉野服飾大学は、目標に向かってチャレンジし、創造力と個性を伸ばす皆さんを応援します。

学長 加藤 敬



初めに、これまで本学の歴史を支えて来られた諸先輩方、教職員の皆様、そして卒業生の皆様に深く感謝申し上げます。皆様のご支援とご尽力があってこそ、本学の発展が長年に渡り支えられて参りました。

学園としてまもなく創立100周年という大きな節目を迎えます。これまで受け継がれてきた確かな技術と精神を大切にしながらも、一方で本学は、いち早くデータサイエンスやAI、そして3Dモデリングなど時代と共に変化する新たな知見を積極的に取り入れ、実践的で魅力あるファッション教育、正しく「進化する伝統」を築き上げて参りました。

本学を取り巻く環境を鑑みますと、高度に成熟化した消費社会にあって、今やファッションは単なる流行の発信装置ではなく、人々の暮らしや安全、福祉など、多様な分野と密接に関わっています。加えて環境配慮やフェアトレード、そしてDX等の社会的命題にも積極的に取り組んでいく事が求められています。

このように未来は加速度的に変化して参りますが、学生達がどのような時代にあっても柔軟に対応できる能力を培う場であり続け、将来のキャリアに繋がる実践的なスキルを身に付け、多様な視点や創造性のある発想で業界をリードできる人材へと成長出来るような学び舎として、これからの100年を見据え、学生一人ひとりの夢や挑戦を大切にしながら共に成長し、学び合える大学を目指して参りたいと考えます。

どうぞ引き続きご支援の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

服飾学部 学部長 鈴木 康久

新学部長からのメッセージ

2025年度(令和7年度)

入学式挙行

college entrance ceremony

4月4日(金)、令和7年度の入学式がSUGINOホールにて挙行されました。服飾学科、服飾表現学科、服飾文化学科の各クラス担任から新入生の紹介が行われ、続いて加藤学長、大学自治会長からのお祝いの言葉があり、歓迎の演奏がありました。翌日からは新入生オリエンテーションが始まり、カリキュラム内容や履修方法、大学校舎や施設の案内等の説明会が連日行われました。その一つとして開催される「ファーストステップ in SUGINO」では担任・副担任とクラスの仲間との親睦を深めるプログラムもあり、新入生は大学生活に向けて最初の一步を踏み出していきました。



2024年度

大

学

服飾学科
服飾表現学
卒業制作・卒業論文

大

学

院

造形研究科造形専攻
創作表現コース
3Dデジタルモデリングコース
修了制作

大学 服飾学科

モードクリエーション コース



箕 青夏

卒業制作テーマ

NAITA AKAONI
装飾技法で表現する感情の研究

皆さんは「泣いた赤鬼」の結末を、どのように考えますか。私は、青鬼も赤鬼と同様に人間たちと仲良く幸せに暮らす未来を物語の続編と考えたことから、「泣いた赤鬼」に描かれた感情を分析し、作者が物語に込めた意図と、私自身の物語の解釈を服として形にするため装飾技法で感情を表現しました。数ある絵本の中でも「泣いた赤鬼」を選んだ理由は、私自身の経験と境遇、家族全員で見た思い出深い映画が『フレンズ ものけ島のナキ』（原作：泣いた赤鬼）であること、そして障害を抱えた家族の存在があったからこそ生まれたのが私の作品です。この物語に触れ、目に見える容姿や無意識に決めつけてしまう印象ではなく、目に見えない感情、誰かの心に耳を傾け日々を生きて欲しいという願いを込め制作しました。



大学 服飾学科

インダストリアル パターンコース



松田 凜音

卒業制作テーマ

Berry／厚さの違う生地による
ギャザー分量の変化についての研究

ラズベリーとブラックベリーをモチーフにマゼンタと黒を基調としたデザインとしています。チュール、ブロード、ソフトデニムなど厚さの違う生地を使用し、デザイン画に適したギャザー倍率を模索していきまし。パターン作成では3Dシミュレーションでシルエットを見ながら修正していきまし。ギャザーの倍率はデザイン画のシルエットに近づけるためギャザーサンプルを作成してからトルと比較し検討していきまし。その結果、全ての箇所でギャザーの倍率を変えていきますが、スカートのように段にする場合では0.1の倍率差が綺麗だと考え取り入れまし。果実に止まる蝶々をさまざまな質感の生地と太さで表現し、隠れてしまうブラウスの身頃にもフリルをつけるなど、こだわりを詰めた作品に仕上がりました。



大学 服飾学科

テキスタイル デザインコース



野村 りよん

卒業制作テーマ

記録

お世話になった方々への感謝を込め、自分自身の集大成として取り組むことが出来たこの一年は、制作に没頭できる贅沢で貴重な時間となりました。私の内側にある感情と感覚の記録という、自分にはわからないものを目に見える形にすることにしました。学んできたことを思い出しながら、何を表現し、どの技法を用いるかを考えまし。納得のいく案を出せない自分に悔しさを覚えながら、先生と何度も話し合いを重ねまし。素材と技法を決定した後は、計画通りに進めていきますが、終わりの見えない細かい作業に何度も心が折れそうになりました。そんな中、少しずつ形になっていく作品に、愛着が湧きました。様々な悩みも抱えた一年でしたが、周りの人に助けられ、楽しく充実した日々を過ごすことができました。



ファッションプロダクト デザインコース



江口 ひなの

卒業制作テーマ

Brag

私の幼少期からのダンス経験を活かし、ダンサーをターゲットにしたバッグをデザイン、制作しました。個人制作では、お洒落な見た目と機能性を兼ね備えた2種類のバッグを作成。これらは三脚などを持ち運ぶためのもので、ダンスのシーンに寄り添ったデザインです。また、踊るとスカーフが揺れるキャップも制作し、卒業制作として完成しました。グループ制作では「ストリートラグジュアリー」をテーマに、HIPHOPやダンスの要素を背景にしたバッグをデザイン。メンズとレディースでリンクしたバッグの提案を行い、両方のスタイルを融合させました。大学生活の4年間で様々な影響を受け、多くの経験を重ねることができました。それらの経験をライフスタイルに活かし、自己表現や提案に満足しています。



ファッションビジネス・ マネジメントコース



河村 聖花

卒業論文テーマ

北欧のデザイン哲学から学ぶファッション産業
—デザインと機能性の文化的背景—

私は北欧のデザインとファッション産業について研究調査を行い論文を執筆しました。幼少期から魅力を感じた製品の多くが北欧ブランドだったことが研究のきっかけです。
現在のファッション産業は同質化が顕著でブランドの差別化が難しくなっています。一つの流行に多くのブランドが集中することで、異なるブランドの製品でも同質化して見える傾向があります。そこで注目したのが北欧のデザインです。北欧デザインはファッションやインテリアの分野で確立され世界的に評価されています。そこで北欧のデザインがなぜ広く認められたのか、誕生の背景を文化的・機能的視点から分析しました。今後デザインの本質や可能性を追求し、確立されたデザインを生み出すための要素や手法を更に研究していきたいと思います。



ファッションビジネス・ 流通イノベーションコース



畑中 千有美

卒業論文テーマ

AIを用いたファッションサービスと
若者の消費行動

本論文は過去にファッションテック論の講義でAIQ株式会社が株式会社バルと共同で運営する「ファッションメイト」の存在を知り、興味を持ったことが動機となり「AIを用いたファッションサービスと若者の消費行動」をテーマに執筆しました。ファッション業界においてAIが用いられている事例を3つ挙げ強みを比較し、アンケート調査ではファッションサービスに関する消費者意識と、消費行動調査を行いました。それぞれのサービスごとの特徴や強みをより深堀し、進化し続けていくAIを用いたサービスと若者の意識の差などを論じています。AIに関する内容で難しい点が多ありましたが、新しい事を知っていく時間はとても楽しかったです。



衣装表現専攻



芦垣 琉南

卒業制作テーマ

魔女のイメージの構築
—悪役の魅力を惹き出す衣装—

幼い頃からファンタジー作品への憧れがあり、その中でも特に魅力感じていた魔女の衣装をテーマに、悪役としての信念を表現するための衣装を制作した。登場人物の性格や心情、時代背景などの考察から始まり、デザイン、作成、撮影を行った。グループ制作『眠れる森の美女』よりマレフィセント、『ナルニア国物語』より白い魔女、『ゲド戦記』よりクモを制作した。
最も力を入れたのはそれぞれのキャラクター性を表現するために魔力の象徴となる羽、雪の結晶、モザイクの制作だ。魔女としての力の根源となるものを独自に設定することで邪悪さや力強さを表現した。キャラクターへの理解や考察の必要性、美しい衣装にするための装飾の方法など、大学生活で学んできたことを発揮し、集大成とすることが出来た。



スタイリング専攻



原 菜々子

卒業制作テーマ

Tartan Freak

ー「私のカワイイ」の具現化ー

卒業制作では、自分の“好き”を詰め込んだ作品を作ると決めた。自分の“好き”を考えたときに一番に浮かんだ「タータンチェック」をメインにし、「タータンマニア」という意味を持つ「Tartan Freak」をテーマに設定した。

雑誌やSNSで沢山のリサーチを行いながら「自分の好きなものやこと」を再認識したり、「自分のしかできない表現」について考え、古着屋で見つけた服をベースに「タータンチェック」をメインとする「私のカワイイ」を最大限に表現していった。

大学生生活四年間の集大成としてこの作品が完成したが、自分にとって本当に素敵な経験になったため、これからも自分の好きを大切に、大学生活で学んだことを活かしていきたい。



VMD (ビジュアルマーチャンダイジング) 専攻



金田 愛美

卒業制作テーマ

カワイイは闇を隠す戦闘服

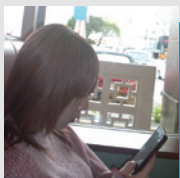
ー自己の内面を着飾るファッションー

卒業制作では自分なりの好きとカワイイを詰め込んだブランド作り、空間表現に取り組み、ピンクと黒の2色で心の表裏を視覚化した制作を行いました。心の内側で不安や悩みを抱えていても、カワイイや好きなファッションを身に纏うことでそんな自分を着飾って見せて自信を持つことができること、そして自分の“好き”を大切に、自由に自分なりの好きなファッションを楽しんでほしいということを伝えたいという思いで取り組みました。

ウェブサイトやショップバッグのデザイン、実物大制作では壁や床を一から設営し、初めての経験も多く大変なこともありましたが全て自分の思い通りにブランド作りを行うことができ、得られた達成感とは自分への大きな糧となりました。



メディア表現専攻



小橋 里奈

卒業制作テーマ

『台所図鑑』

ー台所にはその人の人生が詰まっているー

日々の営みが凝縮された場所、台所。そこにはその人の暮らしのリズム、思い出、そして物語が静かに宿っています。

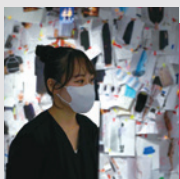
「人の人生を読み取れるものを作る」というテーマで、台所のみの写真を撮影し、写真集とブックレットを制作しました。

本書『台所図鑑』は、ただの写真集ではありません。それぞれの台所が持つ個性や温度感を通じて、人々の人生の一端を覗き見るができる一冊です。整然とした空間、少し散らかった作業台、使い込まれた調理器具——どの一枚も「その人らしさ」を映し出し、読む人の心に共感や懐かしさを呼び起こします。

人生を語るのは言葉だけではありません。この写真集は、台所というささやかな風景が語る「生活」と「人間」の深さを改めて教えてくれる、そんな作品になっています。



造形専攻 創作表現コース



品川 渚夏

修了制作テーマ

私の肩が丸く見えない服

私は、幼い頃から自分の身体に違和感があった。その正体は、丸い肩。

そこで、自分の肩が丸く見えない服を、ただ自分のために研究した。

パターン上で考えたり、街で見かけた人の動きからヒントを得たり、生地屋で見つけた面白いプリント生地で錯覚効果を狙ってみたり…。

作っては着用して、撮影をする。着用写真を壁に貼り、分析をして、また作る。

そして出来上がった壁を作品として、千駄ヶ谷にあるTerritory Galleryにて修了展「身体捜査」を開催した。この研究を通して、1つのゴールに向けて試行錯誤を重ね、密度を高めていく忍耐力、視野の広げ方、作品に合ったプレゼン方法とは何かを考えさせられた。

この貴重な経験と学びを就職後も活かして、更なる成長を目指していきたいと思う。



造形専攻 3Dデジタルモデリングコース



高橋 芽衣

修了制作テーマ

紅に揺蕩う

— 私自身の世界観や物語を表現する —

大学第2校舎にて修了制作展『紅に揺蕩う』を開催しました。架空の国「タフテフ」を舞台とした物語を執筆し、登場人物が着ている服を実物と3Dにて制作、挿絵としての3D空間、作品紹介PVを制作、展示を行いました。

本を手にとった人に、私の創造した世界を揺蕩いながら、現実ではありえない体験に浸ってもらいたいという思いを込めて制作を進めていきました。入り込むための余白を残した文章、実物と差異を無くした3Dモデル、背景や3Dオブジェクトを配置して実際にあると想像できるような空間作り。その全てで「私自身の世界観」を表現できたと感じています。

これからも、自分自身の「好き」を忘れずに、制作活動をしていきたいと思っています。



新入生オリエンテーション

ファーストステップ in SUGINO

4月10日(木)に3学科初年次全学生を対象にファーストステップを開催致しました。大学生活をスムーズにスタートし、疑問に思っている大学生活を理解して頂くことを目的としています。3・4年生トークショーでは、1年時のエピソードやその後の学生生活全般の話を3学科の先輩方から聞きました。質問コーナーでは、疑問や不安なことに、その場で回答して頂きました。体育館企画や学内オリエンティングでは、チームワークを学び、学内施設の確認をしながら、チェックポイントを回り大学のことやこれから共に学ぶ仲間のことを知るきっかけの企画がありました。各自振り返りを行い、大学生活のスタートを切る一歩となったのではないのでしょうか。

初年次教育課程連絡委員会 委員長 水野 真由美



コンテスト

最優秀賞受賞!

「和装織物新製品開発事業デザインコンペ」

着物や帯のデザインを学生から公募する「和装織物新製品開発事業」(桐生織物協同組合主催)で、テキスタイルデザインコース3年生(当時)の曹さんが最優秀賞を、同コース3年生(当時)の塚越 雅姫さんが佳作を受賞しました。



私は日本の妖怪伝説に強い関心があり、とりわけ室町期の「百鬼夜行絵巻」に描かれる幽玄な付喪神や妖怪の行列に心を奪われています。この帯はその絵巻の世界観を表現し、伏せた子猫を思わせる丸みを帯びたフォルムで、腰元に愛らしさと神秘性を演出します。また、妖怪を墨絵調で細密に配置しました。それぞれの妖怪が

怒りや嘲笑、狡猾さを帯びた表情で神秘感を紡ぎ、見る者を異界へ誘います。猫のシルエットと妖怪の墨線が織りなすコントラストは、伝統と革新、現世と幽世の境界を漂うようになっています。制作にあたり桐生産地について調べました。伝統ある技法で帯にさせていただきとても良い経験になりました。

服飾学科 テキスタイルデザインコース4年 曹 成思



アイデア賞・努力賞 同時受賞!

「学生ビジネスプランコンテスト」

一般社団法人学生サポートセンターが主催する標記コンテストが開催され、全国から53大学127チームが応募し、21チームが受賞しました。本学からはFBマネジメントコースの学生達が応募し、アイデア賞1チーム、努力賞4チーム、が受賞しました。「知的障がい者向けファッション」、「災害時に備える多機能ウェア」等、服の力を活用して社会課題の解決に貢献しようとする企画が受賞に繋がっています。ファッションは単なる流行の発信装置ではなく、人々の暮らしや安全、福祉など、多様な分野と密接に関わっています。学生達は、そのファッションの可能性を信じ、社会に寄与する企画として提案していきましました。

ファッションビジネス・マネジメントコース主任 鈴木 康久



産学・域学連携

伝統染織文化の継承・産地活性化

[本場奄美大島絨共同組合、奄美大島龍郷町]

服飾文化学科では、学生と教員の共同プロジェクトとして、伝統染織文化の継承と産地活性化に向けた活動をスタートしました。2024年度は、鹿児島県奄美大島で受け継がれてきた大島紬を用いて洋服2点を制作。大島紬の主要産地である龍郷町の町制50周年記念イベント「紬ショー in たつごう2025」に参加しました。約20年前に製作された本場奄美大島絨協同組合にある在庫反物を活かし大島紬の可能性を広げることを目指した2点の作品を、約600名の来場者にご覧いただきました。ショーには大島紬の着物や洋服をまとった24組が出演、服飾文化学科2年の学生も自作の作品を着てステージに立ち、龍郷町の方々と交流を深めました。



服飾文化学科 学科長 梅谷 知世



企業見学

三陽商会 見学

昨年12月上旬に株式会社三陽商会へ訪れ、工業用技術・パターン・品質管理の3部門を見学させていただきました。工業用技術部門では、ピコミシンや偏平縫いミシンなどを見学し、それぞれの機能や性質を学びました。パターン部門では、パターンによって接ぎの入れ方やゆとり・ボタン位置調整など、細部に工夫を加えて設計されていることをお聞きし、単なる型の繰り返しではなく、機能性の考慮がなされていることに気づきました。品質管理部門では、引き裂きや耐光などの各種試験機を見学し、製品の品質を守るための重要な工程であることを実感しました。今回の見学を通じて、パターンを学ぶ学生として、パターン作成の技術力や品質管理の大切さをよりリアルに感じる貴重な機会となりました。



服飾学科 インダストリアルパターンコース4年 武田 ひかり

研修旅行

京都・大阪 研修旅行

服飾文化学科1年次には、博物館などを訪問し、服飾文化をどのように未来に継承していくかを考える集中授業「フィールドワーク」があります。昨年度は2025年2月3日～5日に京都・大阪を訪れ、世界有数の西洋衣装コレクションを所蔵する京都服飾文化研究財団(KCI)、世界各地の民族の暮らしや文化を展示する国立民族学博物館、日本の織物の伝統を継承し挑戦を続ける京都西陣の手織ミュージアム織成館、江戸時代以前の文化財の修復を手掛ける工房・染技連を見学しました。学生たちは、学芸員・修復士・職人の方々とさまざまな会話を通して、文化は「人と人、文化と文化が作用しあって成り立っている」(学生)ことを実感するなど、たくさんの学びを得ることができました。



服飾文化学科 学科長 梅谷 知世

教員の研究活動

私は服飾文化学科での研究を活かし、学外博物館との連携、展示作業への協力に取り組んでいます。

主な活動としては、博物館、美術館で開催される展覧会の服飾資料の着装及び、着装に必要なアンダードレス等を製作しています。学外博物館との交流の中で、資料の取り扱いや普段足を踏み入れることが難しい展覧会準備の現場の作業に携わりながら、学芸業務について学びを深めています。現在は、ラリック美術館（神奈川）、ならびに共立女子大学博物館（東京）での展示に協力しています。



服飾文化学科 服飾文化資料研究室 菅野 ももこ



「ルネ・ラリックのファッション図鑑」
[会期] 2025年3月22日(土)～11月30日(日)
[会場] 箱根ラリック美術館 2階企画展示室



企画展「絵画×ファッション
-春にめぐる装いの世界-」
[会期] 2025年4月21日(月)～6月21日(土)
[会場] 共立女子大学博物館展示室

ご退職の先生

北折 貴子 先生

1983年4月	杉野女子大学	副手	2010年4月	杉野服飾大学	教授
1985年4月	杉野女子大学	助手	2011年3月	杉野学園	評議員
1990年4月	杉野女子大学	講師	2016年4月	杉野服飾大学	服飾学部長
2000年4月	杉野女子大学	助教授	2017年3月	杉野学園	理事
2004年4月	杉野服飾大学	助教授	2024年4月	杉野服飾大学	服飾学部長兼服飾学科長
2007年4月	杉野服飾大学	准教授			



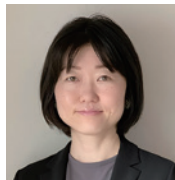
北折貴子先生は、杉野女子大学卒業後副手として被服構成研究室に就職され、長きに渡り服飾教育にご尽力されました。2002年に杉野服飾大学へと校名が変更され、モードクリエーションコースが設立された時から常にコースを牽引され、2018年からは学部長として服飾学部全体を統括する立場としての重責を担われてきました。また、学生の指導だけでなくご自身の作品制作への情熱は妥協することがなく、教員作品集ではいつも力強い作品を発表され、私たちに刺激を与えてくださいました。常に最前線で大学教育に関わられた先生ですが、ご退職後はご自身の制作活動を追求されると伺っております。新たな分野でのご活躍を楽しみにしております。

モードクリエーションコース 服飾造形研究室 安部 智子

新任の先生

外川 恵 先生

服飾学科 調理研究室 講師



私は栄養学の中でも調理を専門とし、高齢者や成人を対象に、健康的な食生活の実現に向けた調理のあり方を研究しております。食生活では「何をどれくらい食べるか」に加え、「どのように準備・調理するか」も重要な視点です。加齢や調理の得手不得手に関わらず、誰もが無理なく実践できる調理方法を明らかにすることは、健康的な暮らしの支援につながります。授業では、食や健康への関心を高めてもらえるよう、知識の習得だけでなく日常生活に活かせる学びを重視しています。教職課程では、衣生活のみならず食生活の専門性も備えた家庭科教員の養成を行っています。教育・研究を通じて、「食」の大切さと楽しさを伝えてまいります。

卒業生、輝いています！

私

はクラシックバレエの衣装を扱う会社でパラレルワークをしています。舞台衣裳やティアラ、レッスンウェアなどの制作をはじめ、舞台裏のサポートにも関わっています。幼い頃からの夢だったバレエの仕事に就き、多くの方に支えられてきました。特に以前通っていたバレエスタジオの先生には深く感謝しています。それぞれの会社に独自の規格やこだわりがありますが、バレエダンサーのためにより良いものづくりをしようとする姿勢は共通しています。様々な現場を経験することで、発表会用とバレエ団用の衣裳の違いや特殊生地扱いなど日々学びがあり、舞台をつくる一員とな



夢を形に、舞台を支えるよろこび



れることにやりがいを感じています。大変な時期もありましたが、先生に恩返ししたいという思いが原動力となっています。

大学では自分のやりたいことを明確にすること、そのために必要な基礎を習得するだけでなく、何かをしてあげたいと思う相手に会ってほしいと願っています。



布川 英里香

2023年 服飾表現学科 衣装表現専攻卒業

【経歴】大学在学中よりバレエ衣装制作工房にて実務経験を積み、卒業後はフリーランスとしてバレエ団、スタジオ、個人を対象に衣装、装飾品、レッスンウェアの制作を手掛けている。また発表会においてドレスサーとしても従事している。



自治会長あいさつ



2025年度学生自治会長になりました。学部3年の菊池峻馬です。私たち学生自治会では、大学祭を軸とする企画と運営を行っています。その他、BBQやボーリング大会などの学年・コース関係なく打ち解けるような出会いの場を作ることを企画しています。去年の大学祭ではコロナ開け初となる飲食の模擬店を出し、本来の大学祭のように実施にすることが出来ました。今年度も引き続き、天竺ファッションショーを始め、その他様々なイベント、参加団体の展示・ワークショップなどで盛り上げて行きたいと思うので、一緒に活動してくれる方の参加を心よりお待ちしております！

服飾学科 ファッションプロダクト・デザインコース3年 菊池 峻馬

クラブ紹介

ファッション・イラストレーション・クラブ

みなさんこんにちは。ファッション・イラストレーション・クラブ(F.I.C)です！私たちは月に1～2回集まって、放課後にのんびりお菓子を食べながらファッション画を描いています。活動日は部員同士で話し合い、都合の合う日を活動日にするので参加しやすいクラブです。また、デザイン画の



授業を担当している先生方が顧問と指導についてくださるので、楽しく本格的なお絵描きができます。先輩、後輩とお話

しがしたい方、絵を描くことが好きな方、活動に興味のある方は気軽にInstagramからDMしてください！

ファッション・イラストレーション・クラブ(F.I.C) 部長 服飾学科 インダストリアルパターンコース4年 青木 理乃



INFORMATION

図書館

2024年度は学内関係者、学外の個人様、企業様より多数の本を寄贈していただきました。特にファッション関連の本や映像資料を寄贈していただき、図書館予算に限りがある中で貴重な資料となっています。今後も関連資料の収集を継続し、蔵書の充実を図ることで学生や教員の教育・研究の支援をしていきたいと考えています。



本の寄贈をご検討の方へ

図書館HP「各種申込」▶「資料のご寄贈をご検討の方へ」をご覧ください。

博物館

「杉野学園の100年と杉野学園衣裳博物館」を開催中です。当館は約70年前に服飾に携わる多くの人々にとって新しいモード創出の源として衣裳を身近に感じる場であって欲しいという創設者杉野芳子の思いを担い、国内外の多くの支援を受けて設立されました。本展では、今年創立100年を迎える杉野学園の教育と当館がどのように関わってきたのかを展示します。

※本学学生・教職員は無料。
学生は受付にて学生証をご提示ください。



2024年度 杉野学園奨学生決定

2024年度の杉野学園奨学生に以下学生たちが選ばれました。伝達式を2月13日に実施し、理事長より決定通知書の授与をいたしました。今後もさらなる研鑽に努めていただきたいと思います。

所 属	人 数
杉野服飾大学	2名
ドレスメーカー学院	1名

2024年度 検定合格者数

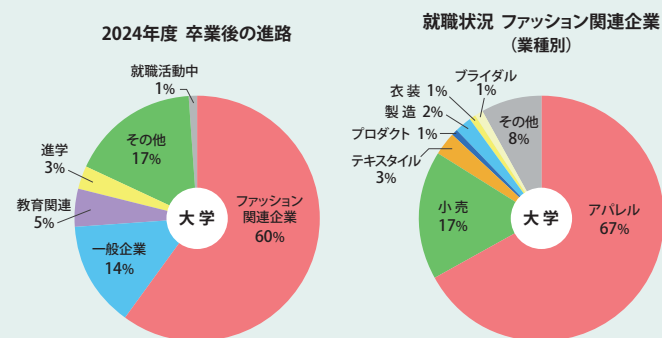
ファッション色彩能力検定	2級 大学 34名 3級 大学 41名
パターンメイキング技術検定	2級 大学 6名 3級 大学 3名
ファッションビジネス能力検定	2級 大学 1名 3級 大学 33名
ファッション販売能力検定	2級 大学 15名 3級 大学 9名
フランス語検定	4級 大学 1名 5級 大学 2名

教 務 部

2025年度前期末の授業・諸行事について

6/2(月)～21(土)	4年生教職課程教育実習
6/6(金)	月曜の授業実施
7/30(水)	前期平常授業終了
7/31(木)～2(土)	試験・補講・集中授業期間
8/7(木)	採点結果発表 追再試手続き
8/9(土)～24(日)	一斉休業(全学)
9/2(火)～4(木)	追再試験
9/5(金)・6(土)・11(木)～13(土)	集中授業・2年映像制作(目黒)
9/11(木)～14(日)	見学・研修期間
9/16(火)～19(金)	選択科目履修調整期間
9/20(土)	後期平常授業開始

2024年度 就職状況



《主な就職先一覧(ファッション関連企業)》

(株)アダストリア、(株)エレメントルール、(株)オンワード樫山、菅公学生服(株)、(株)キャン、(株)光和衣料、(株)シッパス、(株)ジュン、(株)ストライプインターナショナル、(株)TSI、(株)デイトナインターナショナル、(株)ティンパンアレイ、(株)TOKYO BASE、(株)トゥモローランド、(株)トリート、(株)七彩、(株)ナルミヤ・インターナショナル、はるやま商事(株)、(株)パル、(株)ビームス、(株)ファイブフォックス、(株)ベイクルーズ、(株)べべ、MARK STYLER(株)、(株)マッシュホールディングス、(株)丸昭、(株)メルローズ、(株)ユナイテッドアローズ、(株)ワールド 他

《就活生に向けてのメッセージ》

この春、卒業生の多くが大学での学びを活かした希望の職種で就職することができました。大学3年生の夏頃より各企業が開催するインターンシップに参加することで、事前に希望する業界や職種を絞ることができ、効率的に就活を行うことができます。早めに対策し就職活動に臨んでください。

SUGINO 杉野服飾大学報 No.47

編集 鈴木 桜子、井口 多恵子、伊藤 高広、数井 靖子、菅野 ももこ、笹部 小百合、高橋 大夢、羽賀 友美、水越 綾

発行日 2025年6月30日

発行 杉野服飾大学教授会 印刷 カラー印刷株式会社